



椿 花言葉：気取らない優美さ

一生勉強 一生感動 一生青春 (第86号)

暖かい春到来です
今年の冬は久しぶりの大雪となり、外出もままならない日々が続きました。...

福井いきいき会新聞

2026年3月1日発行
福井いきいき会
福井市中央1-9-29
0776-28-6464
発行責任者 吉岡会長

さて、当会存続の「チャレンジ」の活動案内を福井新聞のプリント欄などで積極的にお知らせしてまいりました。...

清水氏は、福井で生まれ、大学時代にロンドン大学へ留学して国際商取引を学ばれ、...



講演中の清水 克彦氏

清水氏のお仕事は、諸外国からの食品の輸入先の開拓でした。...

日本もかつては食料不足の時代があり、給食では脱脂粉乳やクシラ肉が使われ、バナナは病気の時しか食べられなかった。...

令和8年3月の行事予定表

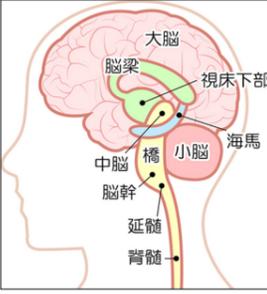
Table with columns: 日曜日, 活動場所, 開始時間, 行事名. Lists various events from March 1st to 31st, including singing circles, film screenings, and lectures.

令和八年三月の行事予定
例会講演
「これからは、これまでを決める」
講師 井上 清一氏



喜歌劇「こうもり」の場面

易しい科学の話
「人はなぜ忘れるのか？」
記憶の科学
講師 吉岡 芳夫



脳の構造

世界遺産を観る会
日本の世界遺産(その一)
主宰 松島 成美



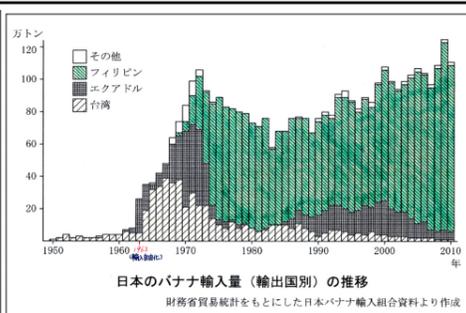
日本の世界遺産

私の趣味
新規加入の林さんが、実演を交え、ギター演奏の趣味をお話されます。
写真クラブ
主宰 吉岡 芳夫

Aマは3階A室で健康麻雀、13時から

しているとのことでした。このような施設は、日本の技術で開発され、使われているとのことでした。

以上紹介したものはほんの数例ですが、清水氏のよいうな食料品輸入先の開拓者の努力のおかげで、日本は豊かな食生活を実現しています。それが分かりました。



| 順位 | 国名     | 地域   | 生産量(t)    | 世界計構成比 | 累計構成比 |
|----|--------|------|-----------|--------|-------|
| 1  | ブラジル   | 中南米  | 3,172,562 | 29.4%  | 29.4% |
| 2  | ベトナム   | アジア  | 1,953,990 | 18.1%  | 47.5% |
| 3  | インドネシア | アジア  | 794,762   | 7.4%   | 54.9% |
| 4  | コロンビア  | 中南米  | 665,016   | 6.2%   | 61.1% |
| 5  | エチオピア  | アフリカ | 496,200   | 4.6%   | 65.7% |
| 6  | ウガンダ   | アフリカ | 393,900   | 3.7%   | 69.3% |
| 7  | ペルー    | 中南米  | 352,645   | 3.3%   | 72.6% |
| 8  | インド    | アジア  | 338,619   | 3.1%   | 75.8% |
| 9  | ホンジュラス | 中南米  | 315,490   | 2.9%   | 78.7% |

コーヒーの輸出国一覽

バナナの輸出（国別）

日本の食料自給率は、前述のように三十%以下と先進国の七十%程度に比べて非常に低く、輸入に頼り切っているのは明らかです。それなのに、自覚が足りない。困ったものです。世界人口は増加し、各国は自国の食料確保を優先する傾向が強まっています。円安の影響もあり、輸入食料の確保は今後さらに難しくなる可能性があります。このような状況の中で、日本は自給率向上とともに、食料を大切にすることを意識改革が必要です。

そのためには、農業・漁業などの一次産業を支え、若い世代が参加しやすい環境を整えること、そして食料ロスを減らすことが重要です。賞味期限と消費期限の違いを理解し、まだ食べられる食品を有効活用することも大切です。欧米ではフードバンクの活用が進み、日本でも同様の取り組みが広がっています。

食料はお金があればいつでも手に入るものではなく、国の努力と人々の意識によって支えられています。私たち一人ひとりが食べ物を大切にし、無駄を減らすことが、日本の未来の食を守ることに繋がります。

今こそ「食」を見直し、次の世代へ安全で安定した食を引き継ぐために、共に考え行動していくことが求められています。

以上のようなご講演でした。聴講した参加者からは「スーパーに並ぶ豊富な食品の多くが、苦勞して開拓してきた方々のご努力のおかげであることや、食べ残しを捨てるといった行為を改めて見直さなければならぬ」との思いを持ったことと思います。

文責 吉岡 芳夫

### サークル活動の報告

**写真クラブ**

主宰 吉岡 芳夫

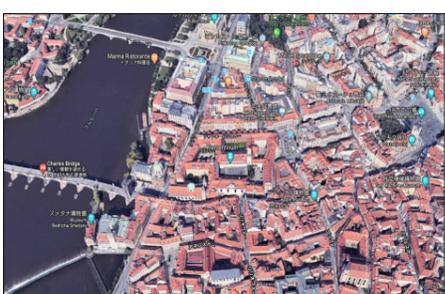
今期開始した写真クラブは、毎回参加者が持参した写真を大スクリーンに投影して楽しんでいます。また、福井新聞が毎月紹介する写真の広場の作品や、各所で展示されている応募写真展の作品などもみて、良い写真



色緋せぬ恋・千日紅 松村さん撮影

真とはどのようなものかを話し合っています。

本クラブは、県のチャレンジ応援事業に認可されたので、プリンターと簡易製本機などを購入し参加者の記念のアルバムを作ることにしていました。家族の写真を思い出して家族の写真を集めて記念して家族の内のカルチャーパークに咲く花の数々を松村さんが、大阪万博見学記と、福井いきいき会の秋季バス旅行で撮影した見事な紅葉を「紅葉の徳山」と横蔵寺の「紅葉」として主宰者の吉岡が、それぞれアルバムにしています。さらに、きれいな写真は、A4サイズの写真としてプリントし、額に入れてよろず茶屋の中に展示しています。



プラハの歴史地区

桜の季節には、撮影に出かけようと考えています。写真を共通の趣味として、仲間を作っていきたいと思います。興味のある方はぜひ参加してください。

**世界遺産を観る会**

**プラハの歴史地区**

主宰 松島 成美

二月は、九回目を迎えた世界遺産を観る会でしたが、チェコの首都にあるプラハの歴史地区を紹介しました。この歴史地区は、千年以上にわたるヨーロッパの歴史を今に伝える貴重な世界遺産で、映像を通してその素晴らしさを参加者と共有できたことを大変うれしく思っております。プラハの魅力は、何よりも多様な時代の

建築が美しく調和して残されていることです。ロマネスク様式からゴシック様式、ルネサンス様式、バロック様式へと続く建物の数々は、まさに「建築の博物館」と呼ぶにふさわしいものでした。丘の上に堂々とそびえるプラハ城は街の象徴として強い存在感を放ち、またヴルタヴァ川に架かるカレル橋では、歴史を見守ってきた石像とともに、街の長い歩みを感じ取ることができました。さらに赤い屋根が連なる街並みと石畳の道が連なる中世の時代にの映像では、中世の時代に入り込んだかのような感覚を覚えました。このプラハの歴史地区は、単に美しいだけでなく、よくもこのようになすばらしい建築物を千年も前から作り上げたことに驚きました。

### リレーエッセイ

#### 福井いきいき会のピンポンサークルを担いで

##### ピンポンの主宰者

二〇一三年一月に福井い



村瀬康夫氏

きいき会が発足し、翌年七月にいきいきピンポンの会を始めることになりました。第一回は九名の参加者のもと福井市体育館にてスタートしました。活動では参加者の皆さんは良い汗を流し、適度な運動を楽しんでおられました。それが今では三十人を超える参加者に支えられ、いきいき会の大切なコミュニティションの場は十二年目を迎え、開催数も四百三十回を超えるくらいに大所帯となっています。

私達はあえて「卓球」と言わず「ピンポン」と呼んでいます。卓球というところか競技としての経験者でなければ難しいのではないかとこの印象があると思います。それがピンポンというところやわらかさや親しみやすさがあり初めての方でも気軽に参加できる雰囲気があります。小さな球を目で追い、お互いに相手のコートに返すことの繰り返して、

高齢者の方にも最適で反射神経を養うだけでなく心のキャッチボールができるコミュニティションの場と感じています。

活動は月四回の二時間です。無理なく行っています。適度に体を動かすことは健康維持に役立つだけでなく心の活性化にもつながります。

ボールを追いラケットを振り共に声を掛け合う時間は日頃の生活に張り合いを生み出してくれます。休憩時間には近況を話し合ったり、体調を気遣ったり色々知恵を出し合い温かな交流の場となっています。

この十二年間で実感しているのはピンポンが単なる運動だけでなく人と人をつなぐ架け橋になっていることです。いつの日か一人ひとりで参加された方がいつの間にか多くの仲間と共に笑顔で帰っていく姿を見るとこのサークルの意義を感じます。

### 川柳同好会

#### 令和八年二月の優秀句

心のすき襲われました  
骨折に  
吉田美恵子

子に感謝友に感謝の  
老いの日々  
南部 歳子

リクリウが感動の波  
巻き起こす  
吉岡 芳夫

冬のバス眼鏡のレンズ  
真っ白け  
山田 良彦

優しいな「屋根から  
雪に」の注意書き  
大野 勉

どの党か選挙選挙で  
まよい党  
尾野フミ子

知事選に追討ち衆院  
雪の陣  
澤村 玲子

雪道を可愛い園児に  
譲られて  
中野 ふさゑ

恐いけど吹雪かまわず  
頼る雀  
尾野 忠男

金色の銀杏絨毯  
超豪華  
上坂 征夫

娘くる認知判定  
する眼つき  
新田ヨシエ

新年に誓いし言葉  
早忘れ  
高谷三恵子

ガレージにつるし柿  
やめてと息子云う  
小林 久子

遣唐私 開府・洛陽・  
ペダル踏む  
小坂 武士

エレベーター足つっかかり  
おとつと  
加藤みや子

永らく、川柳同好会の主宰者として句会をリードしてこられた小坂武士氏が、二月例会の席で二月をもつて退任したいと申し出られました。全員続けてほしいとの意見でしたが、ご意志が固く、やむを得ず承諾となりました。後を引き継いでくださる方について話し合いを続けた結果、推薦された山田良彦氏が会員らがバックアップをするという条件で、主宰者を引き受けて下さることになりました。

小坂氏のこれまでのご尽力に対しては、全員で感謝いたしました。